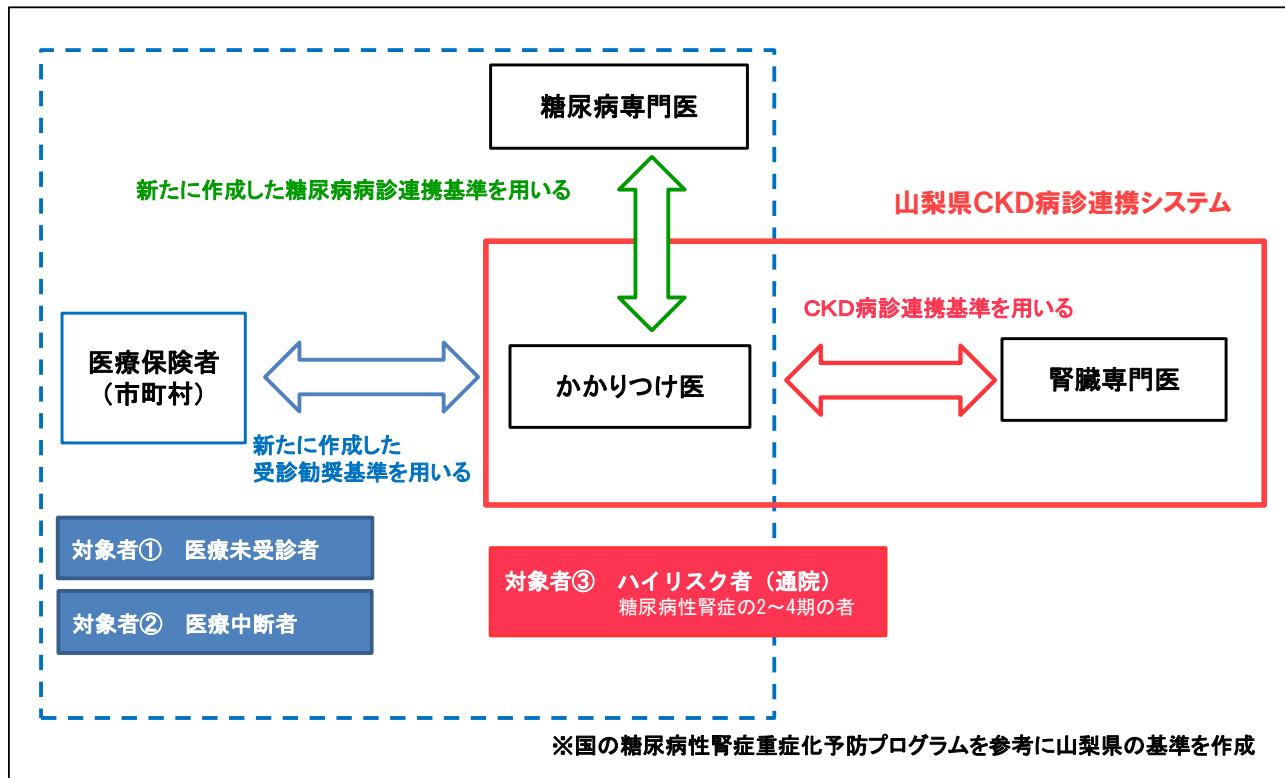


山梨県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

I プログラムの概要

現状	糖尿病及び慢性腎臓病(以下「CKD」という。)は重症化すると人工透析に繋がる恐れがあり、人工透析の導入は県民の生活の質に大きく影響を及ぼすことになる。本県では新規透析患者のうち、糖尿病を起因とする糖尿病性腎症の割合が非常に高い。
目的	本プログラムは、糖尿病及びCKDの重症化するリスクの高い医療機関未受診者及び治療中断者を適切に受診勧奨することにより医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者(以下「ハイリスク者」という。)に対して、保険者とかかりつけ医等が連携して保健指導を行い、人工透析への移行を防止することを目的とする。
関係者の役割	<p>【保険者】「健診データやレセプトデータ等により、疾病構造や健康問題等の分析」 「地域の実状に応じた対策の立案」</p> <p>【医師会】「保険者とかかりつけ医との連携体制の構築を支援」 「かかりつけ医と専門医等との連携を強化」</p> <p>【山梨県糖尿病対策推進会議及び山梨県CKD予防推進対策協議会】 「国や県における動向や各保険者の取組状況等について構成団体へ周知」 「医学的・科学的観点からの助言」</p> <p>【県】「本プログラムを関係団体に周知し県民に啓発」 「取組状況の共有」 「保険者における円滑な事業実施の支援」</p>



推奨する対象者の抽出基準	<p>(1)医療機関未受診者 空腹時血糖126mg/dL(随時血糖200mg/dL)以上又はHbA1c6.5%以上の者のうち、蛋白尿を認める者又はeGFRが60mL/分/1.73m²未満の者(特定健診等で血清クレアチンを測定している場合) ※ eGFRについては、山梨県CKD病診連携基準を参考に 40歳未満の者は60mL/分/1.73m²未満 40歳以上70歳未満の者は50mL/分/1.73m²未満 70歳以上の者は40mL/分/1.73m²未満</p> <p>(2)糖尿病の治療中断者 糖尿病により医療機関受診中の患者のうち、最終の受診日から6か月経過しても糖尿病の受診歴がない者(かかりつけ医の判断)</p> <p>(3)ハイリスク者 医療機関に通院中の患者のうち、保険者がレセプト・健診データから糖尿病性腎症の病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者(かかりつけ医の判断)</p>
--------------	--

II 検討の経過

H30.6.5	第1回CKD予防対策協議会	プログラム骨子(案)の提示
H30.7.9	糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成WG	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 検討 </div> <div style="width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">↓</div> <div style="position: absolute; bottom: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%);">↓</div> </div>
H30.7.23	糖尿病対策推進会議	
H30.8.6	糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成WG	
H30.8.29	糖尿病対策推進会議	
H30.10.22	第2回CKD予防対策協議会	プログラム(案)の提示

H30.10 糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定

III プログラムの推進

- 糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定締結
山梨県医師会
山梨県糖尿病対策推進会議
山梨県CKD予防推進対策協議会
山梨県
- 地区医師会、保険者協議会等関係団体への説明
- 市町村の保健師・栄養士等を対象とした説明会の開催